悲劇の島ガダルカナル

村誌調査員新発田商工高校　荻野正博

○ガダルカナル島戦の意義

ガダルカナル島の周囲はときどき色彩を変えるサンゴ礁によって縁どられ、南海に浮ぶ楽園のように見える。実はこれは偽りのガダルカナルだ。一九四二年のこの島は地上で最もいやらしい失楽園だった。

最近ベストセラーとなっているジョン・トーランドの「大日本帝国の興亡」の一節である。この南海の美しい島で日米両軍は昭和十七年（一九四二）八月から翌十八年（一九四三）二月まで血みどろの死闘を行なったのである。このガ島戦は「日本が攻勢から守勢に移った転換期はガダルカナルの一戦でした。われわれの敗退の原因は米国と同じスピードで増援する能力がなかったことであった」と永野軍令部長が語っているように太平洋戦争の転機をつくった戦であった。

この頃から連合軍は緒戦の敗北から立ち直り、反撃を開始してきたのである。昭和十七年十月にはドイツ軍が北アフリカで退却を開始し、スターリングラードでも大敗北を喫した。ガ島戦はスターリングラード戦とともに第二次世界大戦の分水嶺であった。

○第十六連隊の死闘

ソロモン群島の南端にある、このちっぽけな島に米軍が上陸してきた時、日本軍は当初容易に撃退できると思っていた。しかし、制空、制海権を握り、圧倒的な火力を持つ米軍の前に、次々と派遣された日本軍の攻撃は失敗に終ったのである。川口清健少将率いる第三十五旅団の攻撃失敗で、さすがの参謀本部も事態を憂慮し、第二師団（師団長丸山政男中将）の増派を決定した。

この仙台第二師団は「日露戦争において弓張嶺の師団夜襲に成功し、強兵の世界記録保持者といい得る名誉の軍兵だった（「連合艦隊の最後」伊藤正徳）。太平洋戦争が始まるや、ジャワ攻略に勇名をはせたこの約二万の第二師団の精鋭は昭和十七年十月ラバウルに到着し、直ちにガ島に向った。

第二師団所属の新発田第十六連隊（連隊長広安寿郎大佐）がガ島に上陸したのは十月十五日であった。アウステン山を迂回しルンガ川右岸のヘンダーソン飛行場を急襲すべく、第二師団の各部隊は次々に出発した。ジャングルの中、細いぬかるみ道を歩いての行進だった。

十月二十四日の突撃の失敗に続き、二十五日、これまで予備隊としてとっていた第十六連隊を中心に第二師団の再攻撃が行なわれた。しかし敵陣には「八一ミリ砲部隊が砲列を敷いて待ち構えていた。日本軍の攻撃は激しく、至るところで白兵戦が展開された……。

……。だが、繰り返し襲う日本軍は砲弾に吹き飛ばされ、手榴弾に倒れ、自動小銃になぎはらわれた」（「太平洋戦争上」児玉襄）。

かくして第二師団の総攻撃も敵砲火の集中を浴びて失敗した。この攻撃で十六連隊は連隊長以下一、五〇〇名以上の戦死者を出した。敗残の第二師団は糧食も尽き、疲労その極に達しながらも、逐次後退を開始した。この間米軍の砲爆撃、マラリア、飢え等に苦しめられ、兵士の死傷は続出した。

米軍の制空権下で、これ以上の兵力増援は不可能であることを悟った参謀本部はついに翌十八年一月ガ島撤退の方針を決定した。その頃、十六連隊で銃を持ちうる戦闘員は僅か百数十名を数えるのみとなっていた。二月四日、エスペランソ岬より乗船し、ブーゲンビルに向ったのであるが、帰還僅か四百三十四名であった。連隊総員二千六百四十四名中、二千二百十名が戦死、あるいは戦病死したのである。写真はこの激戦の記念碑で、新発田連隊のあった新発田城堀に面して昭和三十七年に建立された。（現在は招魂社の近くに移されている。）日本軍全体では、戦死者約八千二百名、戦病死者約一万一千名計約二万名の犠牲者を出した。

○岩室村のガ島戦没者

岩室村役場の戦没者名簿によると、この村のガ島戦没者は二十一名である。（表参照）十月二十五日の総攻撃で戦死したのは僅か一名。その他はみな、その後の小戦闘での戦死か戦傷死、戦病死である。おそらくマラリア、栄養失調による病死が多かったろう。敵機の空襲で食糧の補給ができず一週間絶食という事態にさえ陥った。飢えた兵士は木の芽、川草などで飢えをしのいだ。ガ島が「餓島」と呼ばれたゆえんである。二十一名のうち本間藤松氏はブーゲンビルで戦病死しているが、これはガダルカナル撤退直後のことであった。

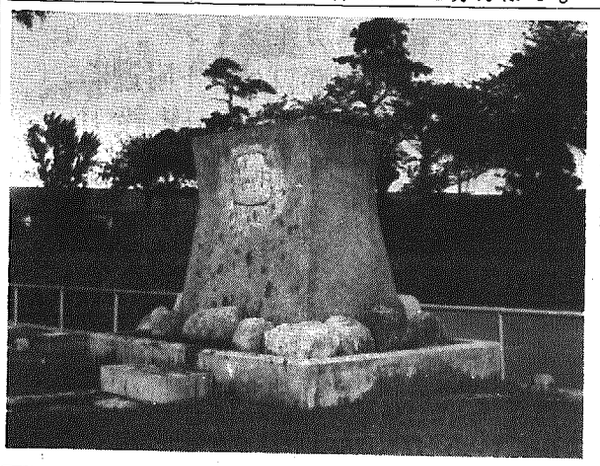
先日、橋本出身、金子佐二郎氏（昭和二十年六月三十日、比レイテ島で戦死）の戦地からの手紙を見せて頂いたが、その中に次のような文章があった。

「お手紙に有りました通りガ島に散華した岩室村の十一勇士の新聞発表を見受け唯々驚嘆の外は有りません。十一勇士の中二名も同級生諸志を失ひ、外九名も皆知っている人ばかり何んとも仕方有りません」表の如く私の調査では旧岩室村出身のガ島戦没者は十名しか見出せないのである。もう一名がどなたであるか、御存知の方から御教示願いたい。また、これら二十一名の戦没者のほか、もしガ島戦従軍者で現在生存されている方がおられたら、是非お話を伺いたいものと思っている。但し、前記の通り十六連隊は殆んど全滅し、帰還者僅か四百三十四名なのであるから、はたしてこの村にそのような幸運者がおられるかどうか分らないが。

最近の新聞報道によると政府は今秋十月にガ島を含むソロモン群島方面の遺骨収集を実施することに決定したという。新潟県でもこの計画に参加し、現地で約二週間にわたり収骨を実施することになっている。今日（八月十七日付）の新潟日報によれば、このガ島行きの話を聞いて「家屋敷を売り払ってもいい、ぜひ連れていって」という老婆もいるという。しかし、本県からは現地の事情に詳しいガ島生還者と遺族の代表を含む十人程度を派遣する計画である。僅か十名であるから、岩室村から参加者が選ばれるかどうか知らないが、とにかく、ガ島にだけでも二十一名の村出身者の遺骨が二十八年間も放置されていたのである。今回のガ島遺骨収集団派遣によりいくらかでも遺骨、遺品が故郷に戻ってくることを望むものである。

岩室村のガ島戦没者

昭17/10/25	野水　寅平	戦死	高畑　出身
10/26	朝妻　行夫	戦死	西船越
11/21	高野　鉄雄	戦死	上和納
11/22	瀬戸川春雄	戦死	上和納
11/23	池田　昇治	戦傷死	西長島
12/7	渡辺小三郎	戦死	石瀬
12/7	山県　信治	戦傷死	西長島
12/10	相沢　佐助	戦死	上和納
12/15	阿部　徳英	戦傷死	間瀬
12/19	田中　善壹	戦病死	間瀬
12/25	太平仁一郎	戦傷死	樋曽
12/28	寺沢　信司	戦病死	西中
昭18 1/7	本間　一	戦傷死	間瀬
1/10	竹内　寅吉	戦死	上和納
1/17	大平　正春	戦死	西中
1/24	三富末太郎	戦死	田子島
1/29	宮川久三郎	戦死	間瀬
2/3	本多　初男	戦死	上和納
2/6	本間　藤松	戦病死	間瀬
2/6	棚橋　文吉	戦病死	石瀬
2/16			



訓練生を募集

県立専修職業訓練所

ただいま、新潟、上越、柏崎、三条、十日町、魚沼（北魚沼郡堀之内町）の県立専修職業訓練所では昭和四十七年四月に入所する訓練生を募集しています。

。訓練科目は機械鍛造科、機械科、配管設備科、電気工事科、自動工事科、自動車整備科、建築科、左官科木工科等十六科目あります。

。特典としては、

(1)授業料、実習費等は無料です。

(2)訓練科目により必要な免許（ガス溶接主任、電気工事士等）が得られます。

(3)就職時の給料は中学卒においては高等学校卒業者（男子）とほぼ同じで訓練科目により上回るものもあります。

(4)遠隔地の人には寄宿舎の設備があり、経費は七千円程度です。

。募集締切りは、十一月二十二日（日）

くわしくは、近くの公共職業安定所または中学校、高等学校、県立専修職業訓練所にお問い合わせください。

農業者転職訓練の案内

農業者転職訓練は、農業以外の産業へ就職を希望する農業従事者のために、これから就こうとする職業に必要な技能と知識を与え、よい雇用条件で就職できるように行なうものです。

訓練を受ける人には、訓練手当が支給され、失業保険金の受給資格がある人は、訓練が終了するまで受けられ、安心して訓練を受けられるようになっております。

希望者は、巻職業安定所又は役場農業委員会におたずねの上、入校手続きをおとり下さい。

この訓練をうけることができる人、期間、場所等は次のとおりです。

○訓練を受けられる人

1現在農業に従事している人

2日雇労働者、パートタイマーなど、臨時的に雇用されている人で、安定した職業についていない人

○期間

入校の時期

昭和四十六年十月

訓練期間　六ケ月

○訓練校の場所及科目

県立新潟専修職業訓練校

。板金科　。溶接科

。建築科・。事務科

県立三条専修職業訓練校

。溶接科

健康保険の保養所が利用できます

豊かなみのりの秋がやって来ました。

ゆっくりと温泉にでもいかがでしょう。

この度、新潟県社会保険協会のご好意により、国民年金の受給権者（被保険者）の方も健康保険の保養所が利用できることになりました。

利用できる人＝国民年金受給権者（被保険者）及び付添いの家族、受給権者は老令・母子・障害の福祉年金を受けている人、拠出して老令・母子・障害の年金を受けている人を云います。被保険者は国民年金に加入されている人です。

申込方法＝役場住民課に申し込んで下さい。申し込みの時には利用しようとする場所が満員等で利用出来ない場合等考えられますのでよくたしかめてから申し込んで下さい。

施設名

せなみ＝松風荘

弥彦＝山彦荘

あかくら＝銀嶺荘

料金＝休憩等日帰り（一食）三百円、

宿泊（一泊二食）千円。

くわしい事は役場住民課にお尋ね下さい。

技能検査の実施

昭和46年度後期の技能検定が次のとおり行なわれますので、受験資格のある人は多数受験してください。

1受付期間　昭和46年10月1日（金）から10月15日（金）（当日消印有効）まで。

2実施職種および手数料

職種名	実技試験手数料
鋳鉄鋳物鋳造，鋳鋼鋳物鋳造，機械検査，時計修理，更生タイヤ製造，△丸編み機調整，△くつした編み機調整，合成樹脂製品圧縮成形，△合成樹脂製品射出成形，円筒研削盤加工，金属プレス加工，△縫製機械整備，寝具製作、ガラス施工，噴務塗装	4,000円
横編みメリヤス製造，洋服仕立て，洋裁，畳製作，△とび，鉄筋組立て，いす張り，活版文選活版植字，空気調和設備配管，給排水衛生設備配管，中衣縫製指物製作，いす木地製作，建具製作，木型製作，印章彫刻	3,000円
構造物現図製作，車両現図製作建築製図	2,000円

3実技試験の実施　昭和46年11月28日（日）から昭和47年2月27日（日）までの間の指定する日

4学科試験の実施　昭和47年2月20日，2月27日のうちの1日。

第十三回村民秋季野球大会

秋季野球大会を開催いたします。各チーム共ふるって参加下さい。

期日　十月十日（日）

場所　岩室中学校グランド

時間　午前8時試合開始

野球連盟では恒例の村民日です。

□新□刊□図□書□案□内□

読書の秋を迎え、公民館図書室では新刊書を整えました。お気軽に御利用ください。

小説靖国神社　有馬頼義
ボーリング入門　川井英一
わが道Ⅱ　毎日新聞社
旅行英語一〇〇の単語　実用日曜大工　樋口譲
実りなき大地減反を追う秋田魁報社減反取材班
春の坂道(一)　石雷の巻　自信と闘志で生き抜く　山岡荘八
春の坂道(二)　詳しき地図の巻　手相の見方を本で覚えたい人に　山岡荘八
春の坂道(三)　日光慨武の巻　雑学事典　山岡荘八
世界の怪談集　矢野浩三郎・青木日出夫　時事問題の基礎知識　山岡荘八
内政的性格　本間寛　うまい儲け話　碑なき墓標　美しき日本
ことばのエチケット　雪国の民話　山と渓谷社編
少女架刑　内山みち子　発明の源泉　T・ジュークス　実用日曜大工　毎日新聞社
チームワーク　吉村昭　R・ステーマン　石川松太郎
愛して生きる言葉　川喜田二郎　天才になれる本　亀井一綱　樋口譲　山名秀明
危ない法律常識　御木徳近　工業所有権法逐条解説　D・ソーヤーズ　大和田斉眼
プロレス・黄金時代の栄光と暗黒　円山雅也　これからのイチゴづくり　平沢和重　毎日新聞社
幹部候補生の条件　田鶴浜弘　自衛隊　坂井清昭　石川松太郎
育児アイデア集　菊地英　狼のブルース　中村和三郎　山名秀明
ハウスの土壌管理　佐久間津奈子　女ひとり緑の魔境を行く　五木寛之　毎日新聞社
話し合いと会議　嶋田永生　肝っ玉かあさん　藤井治夫　大和田斉眼
大日本帝国の興亡ジョントーランド　井上尚美　関ケ原（上巻）　松原茂樹　石川松太郎
毎日新聞社　冬の旅（上巻）　平岩弓枝　特許庁
他十数冊　立原正秋　司馬遼太郎　小林寛子　小堀用一朗

今月の納税	
固定資産税	第三期
保険税	第五期
軽自動車税	月割分

記念，祝賀，宣伝に
特別包装たばこをどうぞ
ホープ（10本）とハイライトのモデルパッケージが用意してあります。宣伝，記念，祝賀等が手軽るに印刷できます。
村内のたばこ小売店に御相談下さい。